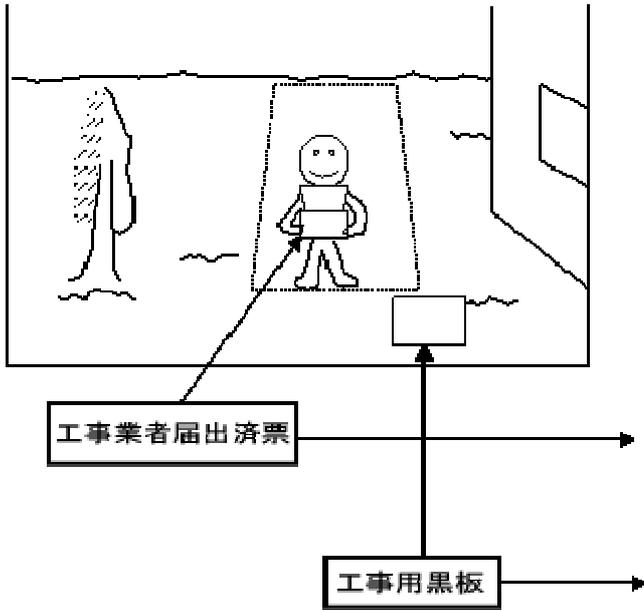


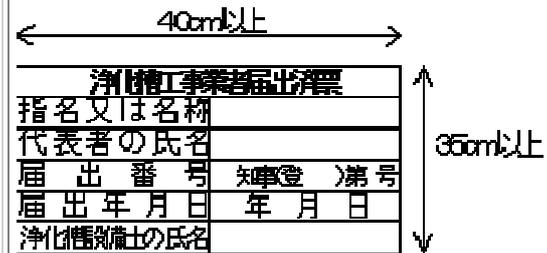
浄化槽工事写真の撮りかた

着工前

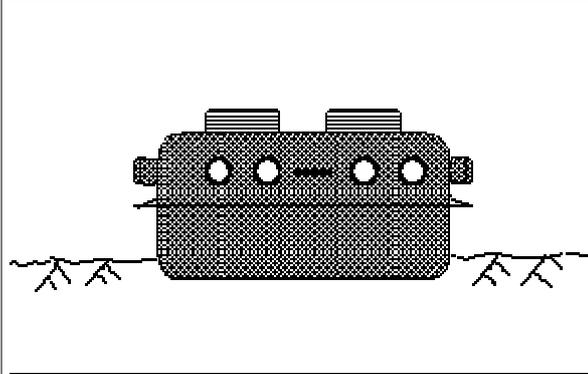


※工事用黒板は、それぞれの工種ごとに撮影する。

(1) 浄化槽設備士が標識板を掲げ、設置予定箇所を撮影する。なお周辺状況(地面・背景)、標識板を明確に撮影する。

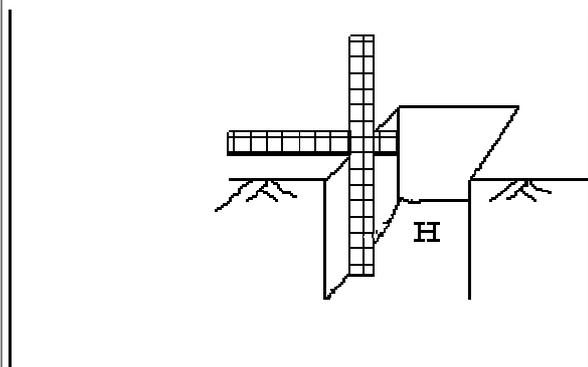


浄化槽工事	
設置者	
設置者住所	
工種	
浄化槽設備士の氏名	
施工業者	



(2) 浄化槽及び機種名を撮影する。

床掘工

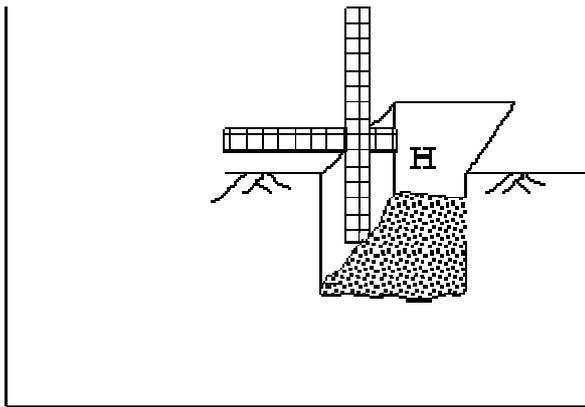


(1) スタッフにて掘削深を測定する。

※ G.L.(計画高)からの、さがりで管理する。(床掘工～基礎工～埋戻し工まで)

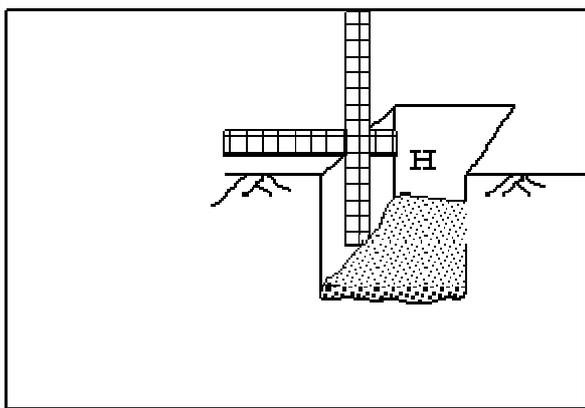
例 H=〇〇m

基礎工



(1)切込み砂利又は切込み碎石を敷いて、十分に転圧し締め固める。仕上がりを測定する。

例 H=〇〇m

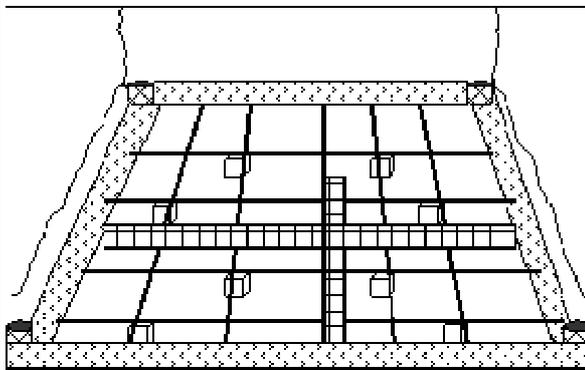


(2)浄化槽保護及び正しいレベルをとるために捨てコンクリートを打設する。

養生後を測定する。

例 H=〇〇m

型枠工・配筋工



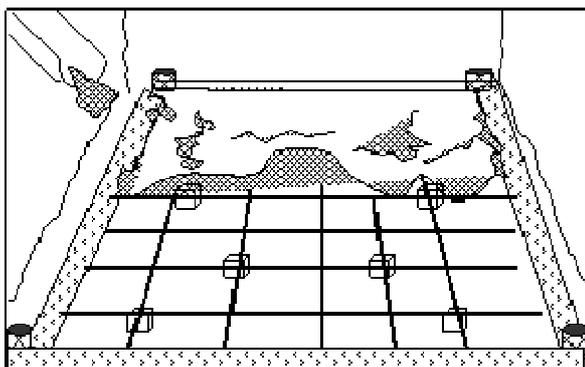
(1)配筋を測定する。

例 D-10@200

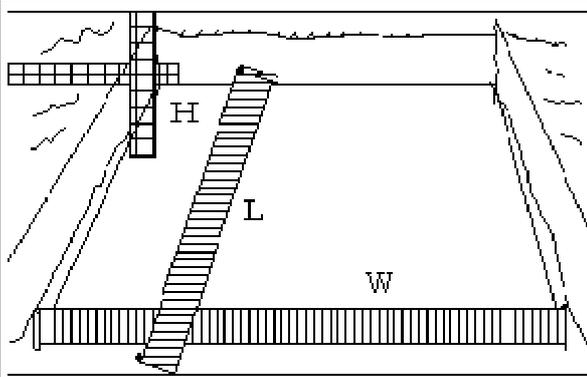
※中間検査実施ヶ所※

- ・配筋を確認(測定)できるようにしておくこと。
- ・浄化槽を確認できるようにしておくこと。(現場内に搬入済のこと)

底板コンクリート工



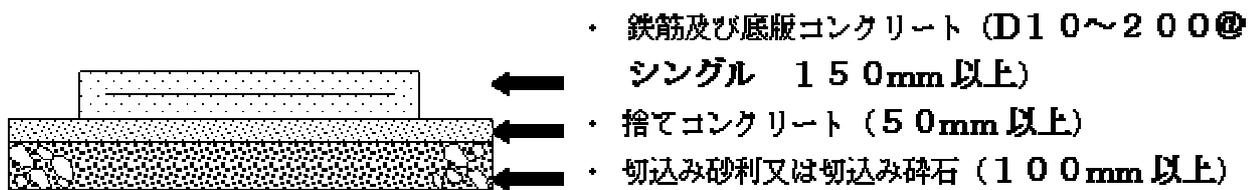
(1)コンクリート打設状況を撮影する。



(2)コンクリート養生後の寸法及びGLからのさがりを測定する。

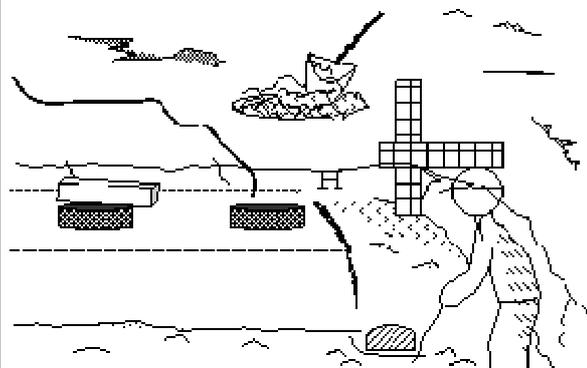
例 H=〇〇m
W=〇〇m
L =〇〇m

※ 基礎等の厚さ(国土交通省 機械設備工事共通仕様書 平成16年版より)



水張り...水張りをして槽本体を安定化させ水平及び据付位置を確認する。

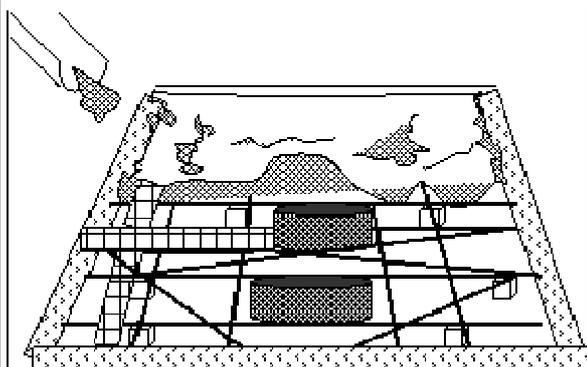
埋戻し工



(1)槽本体周辺の転圧状況を撮影する。
※槽本体保護のため、良質土にて周辺を均等に埋戻して不等沈下のないように十分転圧をする

例 H=〇〇m

配筋・スラブコンクリート工

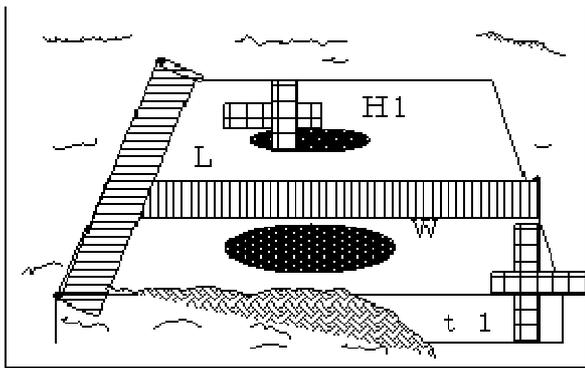


(1)コンクリート打設状況を撮影し、同時に配筋を測定する。

(厚さについては10cm以上)

例 D-10@200

完成



(1) コンクリート養生後の寸法及び嵩上げ高さを測定する。

※嵩上げ高さは、おおむね 30cm 以内であること

例 $W = \text{〇〇m}$

$L = \text{〇〇m}$

$H1 = \text{〇〇m}$

$t1 = \text{〇〇m}$

放流先・・・トレンチ・側溝・浸透枡等、流末の状況を撮影する。

※ポンプアップを必要とする場合は2台以上設置し、交互に切替運転ができるようにするほか、運転中のポンプが故障した場合、他のポンプに自動的に切替できる構造とする。(写真管理もする)

※コンクリートの打設は、所要の強度になるように適切な養生期間をとる。(尚、品質及び施工方法については「建築工事標準仕様書 5鉄筋コンクリート工事」等を参考)

※駐車場仕様は、各メーカーの施工要領書・仕様書・構造図・配筋図等によるものとする

※測定値は、黒板に記入すること

※写真管理については、明確に撮影し管理不足がないようにすること。尚、施工・写真等が不備の場合は補助金が交付できないこともあります

※「浄化槽法第4条第3項の規定による浄化槽工事の技術上の基準」より

管渠・・・下水道施工基準に準ずる。